

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成27年8月20日 (2015.8.20)

【公開番号】特開2015-6390(P2015-6390A)
【公開日】平成27年1月15日 (2015.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2015-003
【出願番号】特願2014-149144(P2014-149144)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月6日 (2015.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤上の始動領域を遊技球が通過することにより遊技者にとって有利な特別遊技を行うか否かの判定を行い、当該判定結果を示す図柄変動を行うぱちんこ遊技機であって、

遊技者が選択操作可能な選択操作手段と、

所定の演出を実行する演出実行手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記図柄変動が行われていない所定期間に複数の選択肢を提示する選択肢提示演出を実行する選択肢提示演出実行手段と、

前記選択肢提示演出実行手段による前記選択肢提示演出の実行中に、前記選択操作手段が操作されることによって前記複数の選択肢のうちのいずれかの選択肢が遊技者により選択された場合には当該選択肢を示す情報を記憶する記憶手段と、

前記所定期間よりも後に行われる図柄変動において当該図柄変動が特別変動態様で行われる場合に、前記記憶手段の記憶内容に基づいて複数の特別演出のうちの特別演出を選択する特別演出選択手段と、

前記特別演出選択手段により選択された特別演出を実行する特別演出実行手段と、

を備え、

前記特別演出選択手段は、

前記遊技者により選択された選択肢に応じて一の特別演出を選択し、

前記記憶手段は、

最後に行われた前記選択肢提示演出後に所定条件が成立した場合に、前記記憶手段の記憶内容をクリアすることを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前述の課題を解決し、目的を達成するため、本発明は以下の構成を採用した。本発明に

かかるぱちんこ遊技機は、遊技盤上の始動領域を遊技球が通過することにより遊技者にとって有利な特別遊技を行うか否かの判定を行い、当該判定結果を示す図柄変動を行うぱちんこ遊技機であって、遊技者が選択操作可能な選択操作手段と、所定の演出を実行する演出実行手段と、を備え、前記演出実行手段は、前記図柄変動が行われていない所定期間に複数の選択肢を提示する選択肢提示演出を実行する選択肢提示演出実行手段と、前記選択肢提示演出実行手段による前記選択肢提示演出の実行中に、前記選択操作手段が操作されることによって前記複数の選択肢のうちのいずれかの選択肢が遊技者により選択された場合には当該選択肢を示す情報を記憶する記憶手段と、前記所定期間よりも後に行われる図柄変動において当該図柄変動が特別変動態様で行われる場合に、前記記憶手段の記憶内容に基づいて複数の特別演出のうち一の特別演出を選択する特別演出選択手段と、前記特別演出選択手段により選択された特別演出を実行する特別演出実行手段と、を備え、前記特別演出選択手段は、前記遊技者により選択された選択肢に応じて一の特別演出を選択し、前記記憶手段は、最後に行われた前記選択肢提示演出後に所定条件が成立した場合に、前記記憶手段の記憶内容をクリアすることを特徴とする。